

無駄なことなんて何一つない。
どんな経験も活かせる仕事。それが
介護職です。



社会福祉法人 旭生会 旭ヶ丘園
在宅課 課長 中村 純也

(社会福祉士, 介護福祉士, 介護支援専門員)

<経歴>

平成 16年入職 平成22年 課長就任

★ 第4回“福祉に対する私たちの想い”スピーチ
コンテスト 鹿児島県知事賞<最高賞>受賞 ★

○介護の仕事にやりがいを感じるのとはどんな
ときですか？



サービスへの報酬は、
お金でもモノでもなく、
笑顔や涙、時には怒り
あり、それらは、二度と
再現できるものではありません。
一人の人間と真正面か
ら向き合うことで、そう
いった瞬間の思いを感じ
るとともに、私たちの成
長と可能性につなげるこ
とができる唯一無二の仕
事だと思えます。

○これから若手職員が経験を重ね、ステップ
アップしていく上で、つらいことや問題に遭
遇することも予想されます。
仕事を続けるコツやつらいことを乗り越える
秘訣があれば教えてください！

私自身も経営者から何度も言われてきた言葉
ですが、「物事の見方・捉え方・考え方で
180度変わる」ということです。
私もこれまでいいことばかりではなく、嫌な
こともいっぱい経験しました。それを、自分の
次のステップにつながる成長の糧と捉えること
で、困難すら楽しく思えてきます。みなさんにも
その状況をあなた自身がどう捉えるかで今後
はどのようにでも変わると伝えたいです。

○若手介護職員や介護職を目指す方に
どのような観点で指導されていますか？

働く仲間を大事してほしいということです。
介護は、対「人」の仕事であり、形のないサー
ビスを提供します。

「いい介護をしない」「入居者の尊厳を守り
なさい」という言葉だけの指導で、いい介護が
できるとは考えていません。働く仲間の「尊厳
に立って」、仲間を大切にすることが、おのず
と入居者さんの尊厳を守ること、ひいては、質
の高い介護につながると思っています。

○介護を目指す人に「大切にしてほしいこ
と」を教えてください！

介護を目指す方に大切にしてほしいのは、い
ろいろな経験を幅広く積んでほしいということ
です。介護は、人の人生に携わる仕事です。良
い経験だけではなく、つらい経験や失敗もすべ
て学びに繋がります。むしろ、そういった経験
の方が、介護に活かせるのではないかと思いま
す。

